

令和8年度秋田大学大学院医学系研究科  
医科学専攻（修士課程）入学試験  
（1回目）

小論文

令和7年9月2日（火）（12：40～14：10）

試験終了後、解答用紙のみを提出してください。

監督者の指示があるまで、問題を開かないでください。

問題用紙 3枚  
解答用紙 2枚

I 以下の文章を読んで設問に答えなさい。

(本文省略)

(本文省略)

## (本文省略)

<出典：Giorgia Guglielmi 著, 小林盛方訳 (2025) 「新しい肥満の定義は BMI よりも健康を重視」『Nature ダイジェスト』 Vol.22 No.4, DOI: 10.1038/ndigest.2025.250416, Springer Nature, 一部改変>

- 問 1 下線①に関して、肥満・肥満症の定義や診断におけるボディーマス指数 (BMI) の限界について 100 字以内で述べなさい。
- 問 2 下線②に関して、科学的根拠に基づいた臨床肥満の治療法について、具体例を挙げながら 100 字以内で述べなさい。
- 問 3 下線③に関して、肥満に対するスティグマを軽減するために、教育現場や社会全体でどのような取り組みが求められるか。本文の内容をふまえ、あなたの考えを 250 字以内で述べなさい。





令和8年度秋田大学大学院医学系研究科  
医科学専攻（修士課程）入学試験（1回目）

小論文

解答・解答例、配点

問1 下線①に関して、肥満・肥満症の定義や診断におけるボディーマス指数（BMI）の限界について100字以内で述べなさい。

配点：30点

出題意図：与えられた情報をもとに重要な概念を的確に抽出し、論点を簡潔かつ論理的に説明する力を評価する。

解答例：BMIは身長と体重のみで算出され、筋肉と脂肪の区別ができないため、筋肉質な人を誤って肥満と判断したり、体脂肪が多くても見逃されることがある。そのため、個人の健康状態を正確に反映しにくい。

問2 下線②に関して、科学的根拠に基づいた臨床肥満の治療法について、具体例を挙げながら100字以内で述べなさい。

配点：30点

出題意図：科学的根拠に基づいて臨床肥満の治療法を的確に整理し、要点を簡潔に表現する力を評価する。

解答例：臨床肥満の治療は、食事療法・運動療法・行動療法が基本であり、必要に応じてオゼンピックなどの減量薬を用いた薬物療法や外科的治療が行われる。

問3 下線③に関して、肥満に対するスティグマを軽減するために、教育現場や社会全体でどのような取り組みが求められるか。本文の内容をふまえ、あなたの考えを250字以内で述べなさい。

配点：40点

出題意図：肥満に対する社会的偏見の問題を理解し、教育的な視点から解決策を論理的かつ簡潔に述べる力を評価する。

解答例：肥満は単なる生活習慣の問題ではなく、遺伝的要因やホルモン異常、社会経済的背景など多くの要因が関与している。こうした科学的理解を学校教育に組み込み、子どもの頃から偏見のない視点を育むことが重要である。さらに、医療者にはスティグマを助長しない対応を促す研修が必要であり、マスメディアもセンセーショナルな報道ではなく、正確で共感的な情報発信を心がけるべきである。社会全体で肥満への理解を深め、誰もが安心して医療や支援を受けられる環境づくりが求められる。